

九州電力からのお願い

電線の近くでの作業は、非常に危険です!

1 電線の近くでの作業時には、事前に最寄りの九州電力へご連絡ください。

作業の方が感電されるケースが大部分です。

2 電線付近での伐採作業には、充分注意しましょう。

切れた電線は非常に危険です。絶対に触れないでください。

3 近くの電線の防護が義務付けられています。(労働安全衛生規則 第349条)

防護していても過信は禁物!

4 高圧引込線付近は、防護をしないと非常に危険です。

事前に最寄りの事業所へご連絡ください

区分	事業所	TEL	事業所	TEL
送電線関係	(株)九電ハイテック長崎支社	(平日)095-864-1980※ (休祭日)090-7464-5021	(株)九電ハイテック佐世保支所	0956-33-3023
配電線関係	九州電力(株)平戸配電事業所	0120-986-401	九州電力(株)島原配電事業所	0120-986-404
	九州電力(株)佐世保配電事業所	0120-986-402	九州電力(株)長崎配電事業所	0120-986-405
	九州電力(株)大村配電事業所	0120-986-403	九州電力(株)五島配電事業所	0120-986-406

※平日の時間帯：8時50分～17時30分

上記以外の時間は休祭日の電話番号へご連絡ください。

URL <http://www.nagasaki.kyuden.co.jp/>

停電事故を起こしたら

- 広範囲な停電が発生し、多くの人たちが影響を受けます。
- 停電事故で損害を受けられた方への補償についても発生することがあります。
(大きな工場への送電がストップした場合、補償額は数千万円に及ぶことがあります。)
- 作業される方が感電死傷する恐れがあります。



豆知識

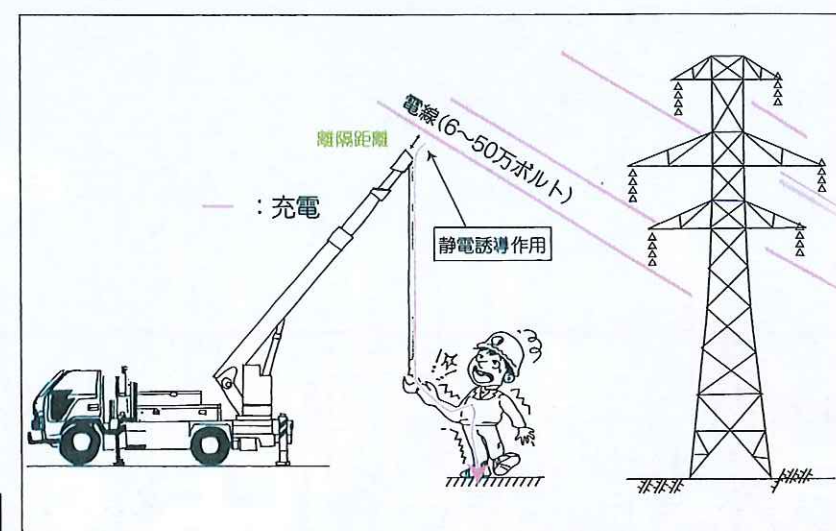
- 直接電線に触れなくても感電・死傷する場合がありますので、電線との離隔を充分とって、作業を行ってください。

＜電線に触れなくても電気は流れます。＞

- ・電線にクレーン等が直接触れなくても、クレーンと電線の間隔が小さくなるとクレーンに電気を帯び、作業者に電流が流れ感電することがあります。[図-1]
(静電気と同様な現象)

【電圧別最低離隔距離】

区分	配電線	送電線		
電圧	6千V	6万V	22万V	50万V
離隔距離	1.2m	4m	6m	11m

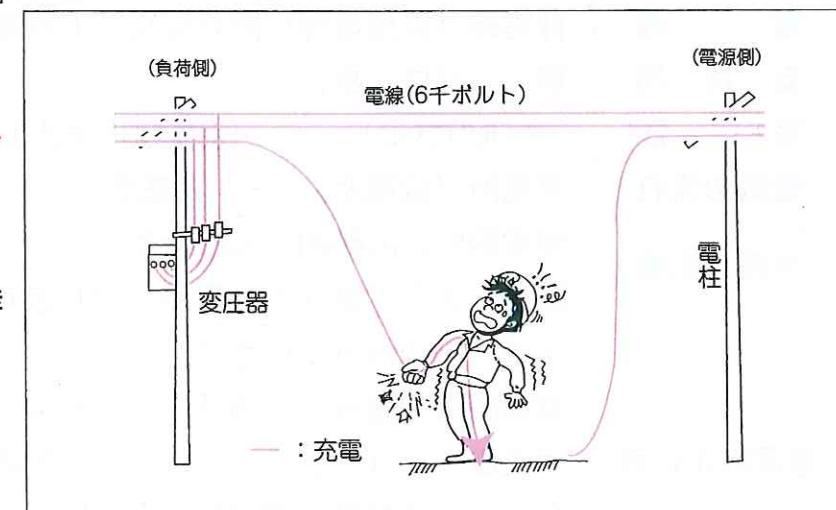


[図-1]

- 切れた電線には、絶対に触れないで、最寄りの事業所にご連絡ください。

＜電線は切れても電気は流れています。＞

- ・電線は切れた場合でも事故とならず、垂れた電線に触れて感電する事故が発生しています。[図-2]



[図-2]



●裏面もご覧下さい。

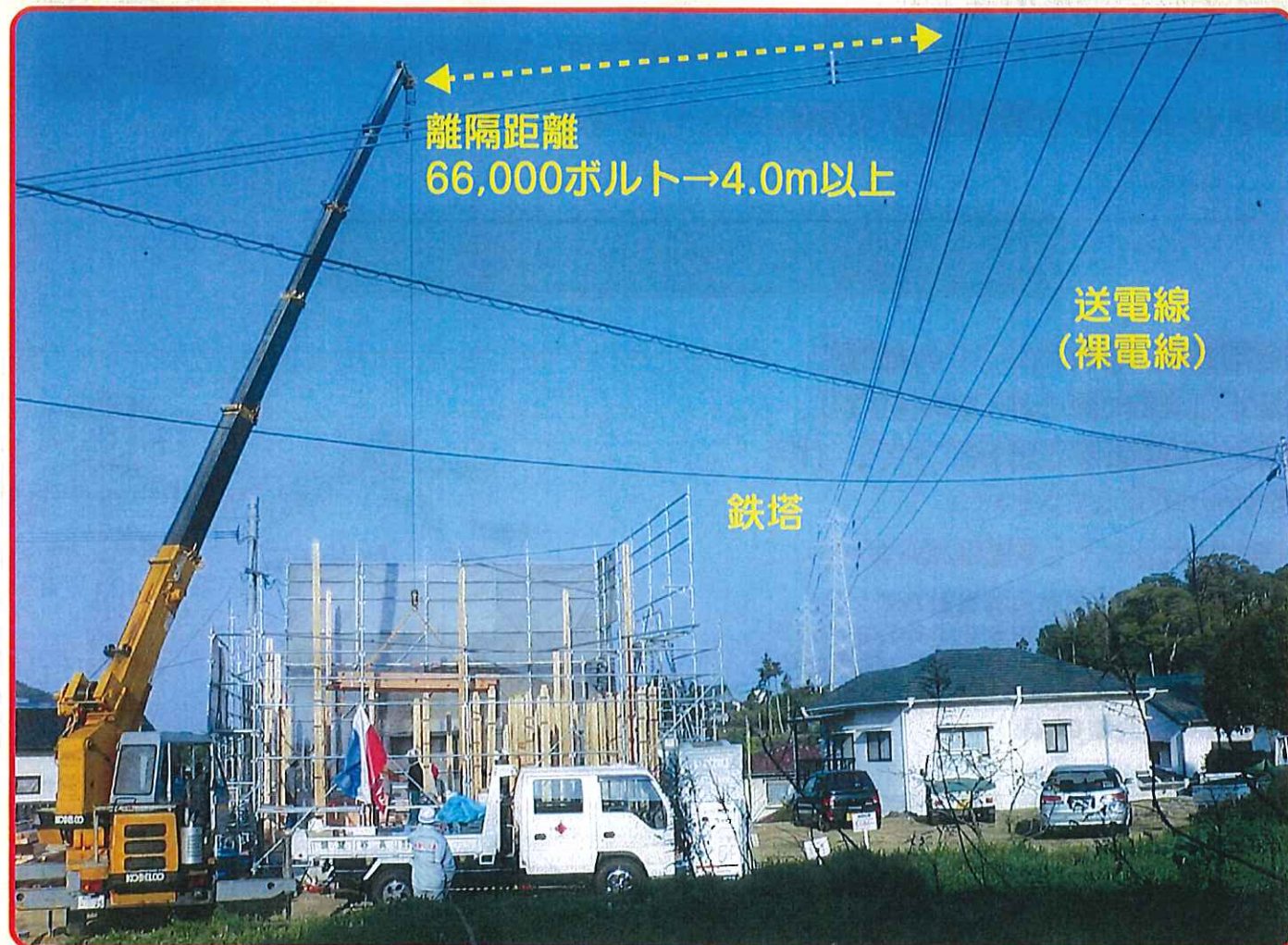
ずっと先まで、明るくしたい。

平成28年1月

注意!

ここが違います。送電線と配電線

送電線



電線	裸電線（直接電線に触れなくても 感電 します）
支持物	鉄塔 又は 鉄柱
電圧	22,000ボルト ～ 500,000ボルト（ご家庭の200倍～5000倍）
電気の流れ	発電所（変電所） → 変電所
停電の影響	停電範囲が広範囲に及びます。 鉄道、大型工場などがストップします。
感電防止対策	※ポリ管は取付不可です。 離隔距離の確保（※電圧により異なります） 目安ロープ（ケプラーロープ）の設置（鉄塔などへ） クレーンの対策（機械ロック、目安ロープ取付など…） 監視の設置（労働安全衛生規則 第349条 4項）
担当箇所	（株）九電ハイテック 長崎支社 送電グループ・佐世保支所 送電グループ

配電線



電線	被覆電線
支持物	電柱
電圧	100ボルト ～ 22,000ボルト
電気の流れ	変電所 → 各ご家庭へ
停電の影響	停電範囲は送電線に比べると小範囲ですが、コンピュータ・機械等がストップするため被害の大きさは計り知れません。
電線損傷防止	建設用防護管（ポリ管）取付 離隔距離の確保 1.2m以上（※ 直接触れてはいけません ） 監視の設置
担当箇所	九州電力（株）の最寄りの配電事業所